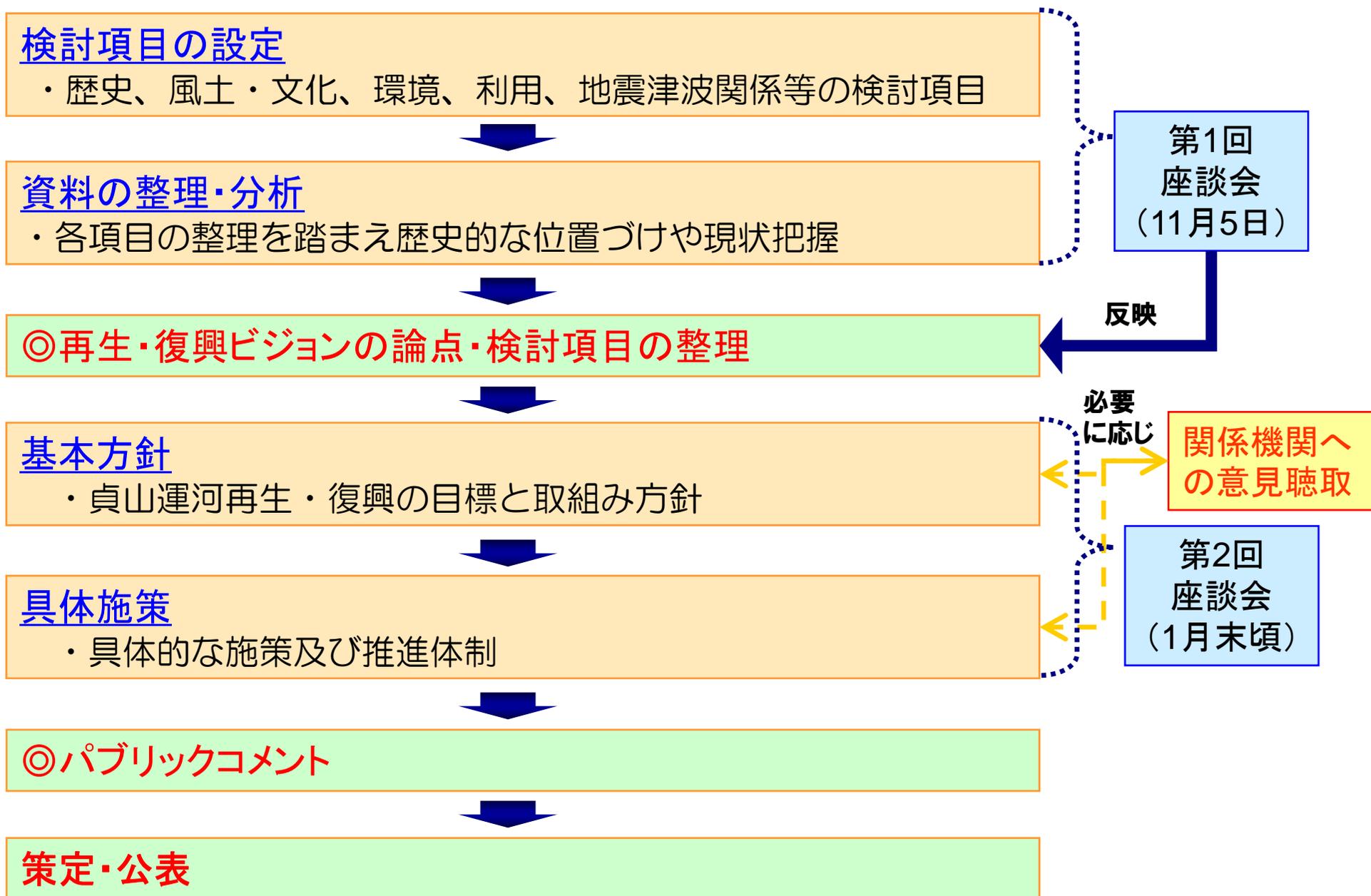


貞山運河再生・復興ビジョン 検討の進め方

平成24年11月5日

第1回貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会



目的

貞山運河を基軸とした、より安全で魅力的な地域づくり

① 魅力的な地域づくり

貞山運河沿川の再生・復興ビジョンを定め、災害復旧事業や復興まちづくりに関する事業が相互に連携し合うことで、震災前以上に魅力的な運河沿川の地域づくりを形成する。

② より安全・安心な地域づくり

貞山運河の津波減災効果を定量的に把握し、津波に対する多重防御施設としての有効性を検証する。

基本構成（案）

① 貞山運河の歴史と現状

（歴史、風土・文化、自然環境、社会的環境、利用状況等）

② 東日本大震災による被災状況

（被災事象、被災状況、復旧計画等）

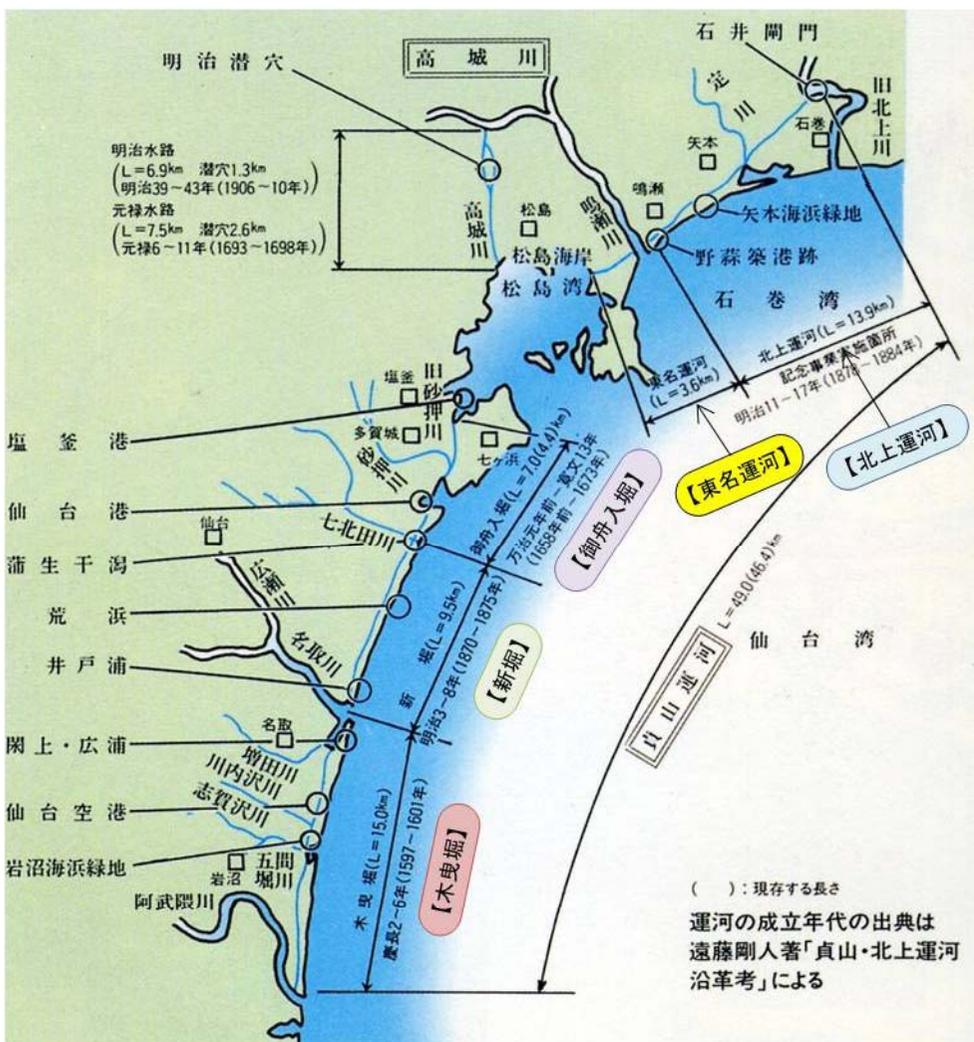
③ 大津波への防御施設としての運河の性能

（減災効果、防御施設の性能・基本構造等）

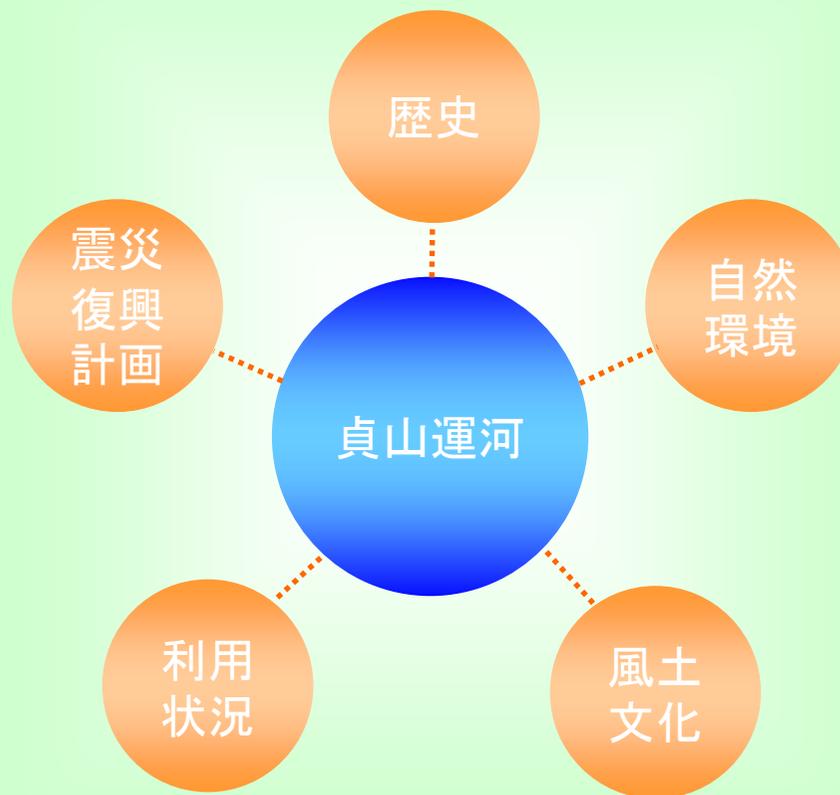
④ 貞山運河再生・復興の基本方針

⑤ 貞山運河再生・復興のための具体施策

貞山運河 阿武隈川から旧北上川まで、総延長約49kmにわたり、日本一の運河として知られる貞山運河は、古くは舟運を目的として江戸時代に建設が始まったもので、現在では治水や利水といった機能に加え、歴史、環境、景観等の魅力を有する土木遺産である。



貞山運河に関する検討項目



貞山運河の歴史・現状について、関連資料の整理・分析を踏まえ、基本方針へ結びつける。

	検討項目	検討内容
貞山運河	歴史	運河建設経緯／役割・位置付け／土地利用
	自然環境	地形的な特徴／生物環境／水循環・水質
	風土・文化	文学／景観／祭事・イベント／史跡
	利用状況	サイクリング等の利用状況／拠点施設／利活用等の検討組織
	震災復興計画	被災状況／新しい土地利用計画／インフラ整備(復旧・復興含む)

基本方針(例)

- ◇ 歴史的な経緯、役割、風土・文化に関する認識を共有し、未来へ向け広域的な視点から新たな価値、地域との絆を再構築する。
- ◇ 地形的な条件や自然環境との調和・共生を目指す。
- ◇ 広域的な一体感を醸成し、連携基盤の整備につなげる。
- ◇ 沿岸軸の魅力、活力のシンボルとして位置づけ、関連事業を貞山運河と結びつける。

資料2参照